……總本店で二十七日朝より二十八日午前三時に至る長時間の重役會議の結果別報の如き團體交渉權に關する具體的回答を作製し之を住友伸銅所囑託小畑文三郎少將が持參し調停中の共益社に赴き職會合して居た兩工場の交渉委員大矢中外十數名及賀川豐彦新進會長安藤國松、友愛會松岡理事等と會見の上該回答を交附熟議した處何れも團體交渉權に關しては是で大體滿足の意を示したが殘りの項目に對し今少し要求に近づいた回答を求め然る後職工に同答案採擇の可否を圖る事と成り二十八日午前十時から西區四貫島町森田鐵工場跡に開いた電線製鋼兩工場職工大會には單に同答文を張出し殘餘の要求貫徹の爲め一層結束を堅ふせよと各辯士力説して散會した解雇手當等に就いて製鋼所側電線所側で非常な要求額の相違があるので何れは是れを平均して新に要求する事となるらしい

伸銅所も滿足の態

住友伸銅所新進會では廿八日製鋼電線兩罷工團に對し赤誠を捧げて凡ゆる經濟上の援助をなすと共に團體組合問題に對し會社側の態度如何によつては更に積極的行動を採らうと云ふ激勵の決議文を姉妹兩會社の罷工團に送くつたが別稿會社側の回答案は伸銅所側よりの警告に對し明かに應じたものなので會社の誠意を諒した大部分伸銅所側では要求提出の擧には出ぬ模樣である

復歸申込盛況

住友總本店では二十八日も前日同樣梅田驛前及恩貴島町の工場並に西野田阪神前に出張所を設け軟派職工の申込を受けて居るが警察の峻嚴なる態度表明により阻止運動が無かつたので梅田驛前の分午後一時半頃迄に二百九十四名本工場福島の分約三百に近く會社側では大々的に樂觀してゐる

治警違反で二人

住友電線製鋼所職工市内西區九條下の町川島梅一同中島南の町北松惣松の兩名は二十六日朝日橋署に檢束された事實は二十二、三の兩日同所職工藤澤九平、白川崎次郎、友滿小吉、田中兵太郎等の自宅を訪問して毆打暴行したので治安警察法違反として目下取調中

罷業女工に同情の仲居

昨夜の收入を寄附

府下西成郡稗島村新道三業の仲居新堂ゆき(二)外二名は住友電線の罷業團員中の女工に同情し夜は本職より得る收入を晝は行商して得た純利を毎日寄附してゐるので同罷工團はかりでなく友愛會員中にも評判となり純朴なる勞働者の擁護者だと感謝

住友爭議

又神 6.30

横斷組合を非公式に認む

問題解決曙光

最高幹部の經營決定

住友總本店では電線製鋼兩所に於ける勞働爭議が其の成行の如何に依りては住友全事業に波及するの虞あるより最高幹部に於いて熟議凝議する所あつたが廿八日朝午前九時に至り漸く一の成案を得た右に依れば横斷組合は非公式に是れを認め此際工場委員會制度を確立し職工の福利を增進する事となつたもので其内容は左の如しと(大阪)

▲又當所職工は從來の通り任意に他の團體に加入する事を得る者とする

方法として議員の半數は當所指名の社員により半數は職工の選出による工場協議會を組織し勞働時間物價指數の高低に順應する最低賃銀の增減、保健衛生危害防止、互助共濟、娯樂、休養風紀、教育其他職工の幸福增進に關し當所諮問又は議員の提案を審議調査し其決議を當所に提出せしむべし▲其組織及議事方法の詳細に至りては決定の上更に發表すべし

爭議批判演説

廿八日午後七時より天王寺公會堂で住友電線製鋼鐵道船所の爭議批判演説會が友愛會の主催で開かれた入場料十錢を徴したが滿場の入りで松岡理事以下十數名熱烈の氣燄を揚げ十時過無事散會した

7.1 一般投票の結果 住友の罷業は打切

大朝

二日から一同揃つて出勤

罷業繼續か、打切か、住友電線製鋼兩工場の委員は一日一般投票により諮めたところ電線は各工場代表者十四名中八對六で……製鋼は實行委員百五十七名中……で何れも打切の意思を表示したので午前十一時から西區四貫島町森田鐵工所跡で報告演説會を開き大矢委員より……を報告した……初志の貫徹を期し打切不可を絶叫する者も勘からずあつたが結局打切る事に決し大矢委員以下數名の委員は午後三時住友總本店に理事中田錦吉氏を訪ひ右の旨を告げた大矢(製鋼)委員は語る

團體交渉權の獲得は相當の大成功だと思ひ退職手當其他は中等以上の收穫を得たものと信じて此度の爭議を打切る事に決した譯です、尚百餘名の強硬論者は初志を貫徹するまで戰ひ續けますと云つてゐますが、これ以上の爭を續けては吾々に取つても不利であるからと反對者に對し讓歩すべきものだと圓滿解決を結んだ譯で明一日から一同揃つて出勤する事になりました

一方兩工場當日の出勤者は[illegible]

住友の爭議も 漸くにして解決した

實行委員の無記名投票の結果は

爭議打切り説が多數だつた

大阪住友電線・同製鋼の兩工場の爭議は廿九日夜住友總本店に於ける勞資雙方の會見により兩者の互讓で圓滿解決の模樣であつたが果して卅日午前十一時西區四貫島町の製鋼所罷工團本部圓鳴館に電線製鋼兩工場の實行委員會を集め、團體交渉權の獲得だけで爭議を打切るか或は繼續するかにつき無記名投票を行つた結果左記の通り爭議打切り意見が大多數を占め茲に職工側は兩工場とも戰鬪を中止する事に決した

製鋼所側　爭議繼續三九票▲同打切一一八票

電線製造所側　爭議繼續六▲同打切八

斯くて實行委員等は兩工場の罷業職工を同所大阪鐵物會社工場に集め大矢製鋼所側實行委員が兩工場の委員を代表して爭議を打切るに至つた經過を報告し一同の諒解を求めた尤も一部には尚硬論を主張する者もあつたが大勢は大矢委員の報告を諒とし正午過ぎ散會した かくて實行委員等は前夜總本店に於ける約束に從ひ午後三時一同打連れて總本店に出頭中田理事其他に

戰は大體に於いて成功

實行委員談

右につき兩工場の實行委員は交々語る

多數意見に從ひ一應爭議を打切る事になつたのですが戰ひは大體に於て成功と云つて可いでせう、第一ア、團體交渉權を獲得した事は私共の私かに誇りとする所であります、解雇手當も希望通りに行かなかつたが先づ成功だと思つてゐます、賃金値上問題は會社の誠意を信じ近々會社が發表するのを俟つた上の事です、犠牲者に就ては覺悟してゐるのですから問題ではありません

旨を述べ尚出勤期日につき協議して引揚げた

六十六名 ……百六十名……右の職工は何れも午前十一時十一分西成線安治川口驛發の列車で歸途についた

增給發表が數日遲れる

中田住友理事談

一方會社側中田理事は語る

職工諸君が會社の誠意を諒として爭議を打切つて呉れて何より嬉しい、犠牲者の事については未だ考へてゐない、出勤してあれば明日(一日)增給を發表する筈であつたが爭議の爲め調査が進んでゐないから數日遲れるであらう、コレも諒承を得たいものだ

警察官糺彈演説

友愛會大阪聯合會主催で七月一日午後六時より天王寺公會堂で演説會を開き最近勞働爭議に關し警察の態度を糺彈するさ

住友の爭議 全く解決

投票により會社側の提議を容る

住友總本店と會社側幹部と會見した住友電線兩工場職工は三十日午前十時……實行委員……會社側幹部と會見の顛末に就き報告し直に協議の結果、會社の回答を容るゝや否やに就き投票の結果、爭議繼續を可とするもの四十五非とする者百二十六票にて爭議を打切る事に可決し、代表者は總本部幹部に回答の手續を取りたり(大阪電話)

6.30 大阪日日 會社側に誠意なし

森田鐵工所で開催した

住友職工連の大演説會

既報罷業中の住友製鋼・電線兩所の罷業職工は二十九日午前十時四貫島の森田鐵工所に於て職長會を開催し聯合辯士の友愛會泉尾支部長及松岡氏等は交々壇に立つて會社側の態度に一片の誠意だも認め得ないと熱辯を振び二十八日共益社で會社側の西崎久保兩氏に待ち呆けを喰はされた各實行委員等は其顛末を逐一報告して最早唯持久戰あるのみと叫び參集の罷業職工は口々に『持久戰』『罷業繼續』を唱へ罷工團は一層結束を固めて持久戰に入る模樣であるが之に付いて住友總本店の中田理事を訪へば

要求書の第一條を容認したなれば多分職工側も讓歩して出勤して呉れるものと思つてゐます二十八日に西崎君や久保君等が實行委員と會ふと云ふ約束に就いては寸毫も知らない事で職工達が再び騷いで居るとすれば多分何かの行き違ひでせう

と意外の樣な面持であつた尚二十九日午前十一時頃共益社を訪ふた賀川豐彦氏は此の問題の前後策に就いて午後から伸銅所の小畑と會見する害である。

團體交渉權以外は 會社側讓歩せず

職工側更に協議交渉せん

製鋼、電線、伸銅三工場から提出した要求條項に對し住友總本店では團體交渉權以外の條項に對しては最初の回答より一歩も讓る事は出來ぬと主張し、職工側委員との會見にも應じない有樣なので職工側では更に協議の上再交渉をする豫定であるが、二十九日正午迄には未だ何等具體的の案も出來ず雙方共に善關せず焉の態度を採つて居た

6.30 臨時出張所を廢止し

製鋼所では勸誘狀を配る

團體交渉の折合が附き、賃銀增給、退職手當の問題を殘すのみとなつた住友製鋼所に於ては最早職工の喰止めの一策として設けた梅田、野田兩所の出張所の必要なしと二十九日限り出張所を閉ぢ同所に歸參を希望する職工の多きを知り二十九日附けで左の注意書を各職工の家へ郵送した

先日開設して居ました梅田、野田の兩出張所は今二十九日限り引き揚げる事となりました、而して先般の回答に異議なき方は明日より平生の通り規定の時間に當所へ出勤なさい

此の通知書でどの位の職工が出勤するこかは豫測出來ない

7/1 住友職工 復職に愈決

爭議勃發以來二旬九重なる住友電線製鋼兩所職工二千名は過般會社の聲明に依り團體交渉權、工場委員等の原案容れられたるに更に手當金問題にて再交渉が重ねつゝあつたが去る二十九日午後六時より中田、山下兩理事、製鋼、電線兩工場支配人立會の上協議を遂げたる結果手當金問題は職工側に於て讓歩する事となり兩所實行委員百餘名は卅日朝四貫島罷工部に集合し會社との協議の内容を大矢實行委員より報告しその可否を投票に問ふた結果會社の妥協案を是認し復業すべしとするもの多數を占めた大矢氏は卽刻森田鐵工所跡に職工一同を集めて其旨報告し一日から就職する事になつた(大阪)

住友罷業打切

二日から出勤

罷業繼續か打切りか住友電線製鋼兩工場委員は一般投票に依つて確め結局打切り多數にて午前十一時西區四貫島町森田鐵工場跡に報告演説會を開き打切りに一決して大矢委員以下數名は一時住友總本店に中田理事長を訪ひ右の旨を告げた大矢委員は語る(大阪電話)

團體交渉權の獲得は住友丈に吾々の大成功と思ふ退職手當其他は中以上の收穫を得たものと信じて今度の爭議を打切る事と決した是以上爭ひを續けては吾々に執つても不利であると考へ強硬論者反對は覺悟の前で此處に圓滿に解決を結んだ譯で明一日打揃つて出勤する事となるでせう云々

[redacted]友は落着

實行委員も職工も打切に決定

大阪住友電線・同製鋼兩工場の爭議は卅日午前十一時西區四貫島町製鋼所罷工團本部圓鳴館に兩工場實行委員會を開き……團體交渉權の獲得丈で爭議を打切る事に決し兩工場員に經過を報告し午後三時總本店に出頭幹部と會見一應爭議を打切る旨を述べた(卅日、大阪發)

10.6.30 大朝 友愛會は手を引く

住友の爭議には今後携はらぬ

團體交渉權確認を一段落に

團體交渉權に關し會社の具體的回答に接して滿足の意を表した住友電線製鋼兩工場職工は更に解雇手當其他の待遇改善條項に付き最後の要求を多少讓歩して妥協案を作成し二十八日夕刻實行委員井上外十名は北濱總本店に赴き人事課の津田氏に會見したが手當其他の件は既に明答して置いた通りであるさ一蹴されたので一同は空しく共益社に引取り二十九日も引續き賀川豐彦、松岡駒吉氏等が協議中であるが友愛會の態度は團體交渉權に對して回答を受取つた迄を一段落として罷業團とは一切交渉せぬ事を期したとあるが山下理事は語る

「團體交渉權に就ては再度の回答は決して讓歩した譯で無く最初回答したと同樣の内容を説明した丈けで手當の件は既に發表したのだからあれ以上のことは出來ないあれだつて他の工場より遙に善い待遇を職工に與へ得るものさ信ずるから今後はどんな交渉を申込んで來ても一切受けつけない云々」

住友罷業團 行商擴張

行商隊を五十五組にする

住友兩工場の罷工團は罷業資金難の爲め行商隊を編成し市内各所に日用品を販賣し居るが賣上げも意外に多額な爲に二十九日からは規模を大きくし隊を五十五に分け各商店等にも入り込んで販賣中である

就業職工に尾行して保護

二十八日正午迄の住友電線所入出職工は二百五十名同製鋼所本工場及び梅田驛前聯家旅館、野田阪神驛前出勤所等を併せて二百六十二名であるが兩工場共に朝日橋署を初め市内各署より應援の警官數百名が街道及工場を警戒し出勤職工には尾行して保護を加へてゐる

尚罷業職工は前日同樣四貫島森田鐵工所方で演説會を開き友愛會其の他の應援があつた

罷業を強要して檢事局送り

住友電線所罷業職工北村加賀美の